



もと ぐされ びょう

サツマイモ基腐病 に注意！

収穫時は確認を！



図 県鹿行農林事務所 Tel0291-33-6192

サツマイモ基腐病は、つるや葉が枯れ、土中のイモが腐る病気です。
「サツマイモ基腐病」対策としては、本病の侵入を防止するとともに、疑わしい株を早期に発見し、速やかな防除対策の徹底を行なうことが重要です。

確認のポイント

収穫前は、株の枯死・黄化や地際部の茎が黒くなっていないかなど、株の状態を確認しましょう。

収穫時は、イモのなりづるが黒変していないか、イモから芽が出ていないか、イモが腐っていないかなど、イモの状態を確認しましょう。



なりづるの黒変



イモの黒変と萌芽

発見したら

- 病気が疑われる株は抜き取らず、発見場所が分かるように目印をつけ、病原菌が周囲にまん延しないようそのままにしておきましょう
 - 収穫中や収穫後に病気が疑われるイモを見つけたら、ビニール袋に入れて保管し、そのイモが入っていたコンテナは他のコンテナと隔離しましょう
 - 病気が疑われる株やイモを見つけた場合は、速やかに問合先または行方地域農業改良普及センター(Tel0299-72-0256)まで連絡・相談をお願いします
- ※病気が発生した場合、栽培管理の記録が重要となります。日頃から、栽培履歴の記録を心がけましょう